

2005年1月17日（月） 神戸ポートピアホール
国連防災世界会議プレシンポジウム
～ みんなで考える 明日の防災 ～

阪神・淡路大震災から10年。その後も世界各地で起きている自然災害は、関係者の懸命の努力にもかかわらず私たちの社会生活の脅威となっており、特に開発途上国では持続可能な開発の大きな妨げとなっています。本シンポジウムは、1月18日から始まる国連防災世界会議に出席するため来日される国連、関係各国、国際機関などのトップの方々に、自然災害による被害を軽減していくために、今後、世界でどのようにして総合的な防災政策および国際防災協力を進めていくかについて語っていただくものです。

日 時： 2005年1月17日（月） 15:30～17:40
（講演、パネルディスカッション等）

場 所： 神戸ポートピアホール
（神戸ポートピアホテル内：兵庫県神戸市中央区港島中町）

主 催： 内閣府、国連国際防災戦略（UN/ISDR）事務局、国際連合大学（UNU）、アジア防災会議2005実行委員会（兵庫県、国連人道問題調整事務所（UN/OCHA）神戸、アジア防災センター）

後 援： 独立行政法人国際協力機構（JICA）、日本放送協会（NHK）神戸放送局、国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）、世界気象機関（WMO）

基調講演： ● チャウドリ・カマル・イブネ・ユースフ
（バングラデシュ防災担当大臣）

- 緒方 貞子
（独立行政法人国際協力機構理事長）

特別講演： インド洋大津波についての現況報告

パネルディスカッション：
● ヤン・エーゲラン（国連人道問題担当事務次長）
● 海老沢 勝二（NHK会長）
● ミシェル・ジャロー（世界気象機関事務局長）
● マルク・ニスカラ（国際赤十字・赤新月社連盟事務総長）
● 伊藤 滋（アジア防災センター長）（コメンテーター）

司 会： 宮本 隆治（NHKアナウンサー）

言 語： 日本語・英語（同時通訳）

参加費： 無料

定 員： 1,000名

申 込： 申込用紙の項目をご記入の上、ファックスか郵送、または電子メールにて下記宛にご連絡ください。

アジア防災センター 国連防災世界会議プレシンポジウム係
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F

ファックス：078-262-5546
電子メール：symposium@adrc.asia



申込用紙

お名前（フリガナ）

ご職業（会社名、学校名など）

ご住所

電話番号

ファックス番号

電子メール

注：登録確認の通知はいたしていません。プログラムの変更または満席の場合等には、主催者よりご連絡させていただきます。当日の受付は、14:30より開始しますので、お時間に余裕をもってお越しください。警備上の理由により、当日はこの申込用紙を受付にてご提示ください。また、お車でのご来場はご遠慮ください。